

# 令和7年度「学校を核とした地域力強化プラン」成果報告会 開催報告

- 1 趣旨** 標記事業に関わる関係者、学校教職員、行政職員等が一堂に会し、各市町における取組事例の発表や「地域とともにある学校づくり」に関する情報交換を通じて、地域学校協働活動のさらなる展開やコミュニティ・スクールとの一体的な推進に向けて、今後も「みつめなおして、よりよく」していくための方策や地域と学校の在り方について、ともに学ぶ機会とする。
- 2 主催** 滋賀県教育委員会
- 3 対象** 参加者 137 名(来場 79名、オンライン 58名)  
(1)地域学校協働活動 関係者  
( 推進員、地域コーディネーター、地域学校協働活動リーダー、ボランティア等)  
(2)学校運営協議会(コミュニティ・スクール)関係者(協議会委員等)  
(3)家庭教育支援員、家庭教育関係者、子育て支援関係者  
(4)各市町「学校を核とした地域力強化プラン」関係者(行政担当者等)  
(5)公立幼稚園・小・中学校教職員、県立高等学校・特別支援学校教職員  
(6)県および市町の社会教育委員  
(7)社会教育士
- 4 日時** 令和8年(2026年)1月 16 日(金)13:30～16:30
- 5 会場** 滋賀県庁東館7階 大会議室
- 6 内容** ・事例報告  
① 日野町立必佐小学校 必佐小学校地域学校協働本部  
「地域とともにある学校づくり～コミュニティ・スクールとして一歩前へ～」  
必佐小学校学校 校長 岩脇 俊博 氏  
必佐小学校学校運営協議会 会長 服部 学 氏  
② 高島市立今津中学校 今津中学校地域学校協働本部  
「地域と学校のつながりから～ええやん今中～」  
今津中学校 校長 土永 晶 氏  
今津地域住民自治協議会 教育・福祉部会委員 是永 宙 氏  
・情報交換会  
・講評・全体総括  
「学校を核とした地域力強化プラン」推進協議会 座長 伊藤 照男 氏  
(滋賀県CSアドバイザー)

## 7 報告・意見交流・講評の概要

(報告)

必佐小学校は、令和5年度からコミュニティ・スクールとなり、学校運営協議会を設置し、地域とともにある学校づくりを進めている。地域の多数の団体が参画し、ふるさと学習や見守りあいさつ運動、学習支援などを継続的に実施している。令和7年度からは部会制を導入し、「子ども見守り部会」と「学び支援部



会」による活動を軸として、学校と地域が課題を共有し、具体的な取組を進めている。推進体制の充実や支援サポーターの居場所づくりに着手するなど、さらに一步前を目指した推進体制の充実と持続可能な協働を目指している。

高島市立今津中学校では、地域と学校が連携し、地域学校協働活動を通じて子どもの学びと成長を支えている。その中心的な取組が、中学生と地域の大人が一对一对話する「トークフォークダンス」である。安心して話し、聴くことを大切にしたいルールのもと、子どもが自分の思いや考えを表現し、大人は傾聴する姿勢を学ぶ場となっている。満足度は生徒・大人ともに非常に高く、相互理解の深化や子どもの意見が尊重され、交流促進により、地域づくりへとつながっている。



(講評)

コミュニティ・スクールは、学校と地域の関係者が「当事者」として子どもを育てる仕組みであり、熟議・協働・マネジメントの三つを軸に、人と学びをつないでいくことが重要である。事例からは、目的や思いを学校と地域が共有し、具体的な取組を進め、小さな成功を積み重ねることで、子どもの学びの充実や地域の活性化につながる好循環が生まれることが示された。コミュニティ・スクールは、即効性のある制度ではなく、一歩ずつ積み上げることで、持続可能な学校と地域を育てる「漢方薬」のような存在である。

## 9 参加者のアンケートより

・事例報告から、コミュニティ・スクール移行の経緯や実際の活動を伺い大変参考になった。今後、地域とのつながりを広げていける方法を見出していきたい。

・ただ地域の方をお願いするだけでなく、子どもたちの課題や現状からどのような姿に成長してほしいかを共有し、そのためにそれぞれの立場で何ができるのかを具体的に考えていく大切さを学ぶことができた。



・情報交換会では、他の地域でどのように取り組まれているかを知ること、自分の学校に足りないものが分かった。どのように取り組んでいけばよいか見通しを持つことができた。

・「教師は『風の人』、地域は『土の人』」という言葉が心に響いた。良い学校は、良い地域で育つと再認識し、積極的に関わっていこうと感じた。

・学校のニーズと地域の思いをいかにコーディネートしていくか、対話を重ねて色々とチャレンジしていきたい。学校は、地域と人をつなぐプラットフォームになれると思う。

・県内、各地域で活躍の方と出会い、つながり、一緒に前を向くことの大切さを知った。